平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月２日

上 場 会 社 名	ナカバヤシ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7987	URL	http://www.nakabayashi.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 取締役社長	(氏名)	辻村 肇
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理統括本部長	(氏名)	作田 一成　(TEL) 06-6943-5555
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	11,309	10.5	△134	―	△4	―	△26	―
25年３月期第１四半期	10,230	1.7	△481	―	△309	―	△229	―

(注) 包括利益　26年３月期第１四半期　0百万円(　－%)　25年３月期第１四半期　△316百万円(　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△0.48	―
25年３月期第１四半期	△4.12	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	43,714	19,793	43.1
25年３月期	44,331	19,782	42.9

(参考) 自己資本　26年３月期第１四半期　18,846百万円　　25年３月期　19,013百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	3.00	―	3.00	6.00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		3.00	―	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	22,500	3.9	250	―	350	―	250	―	4.49
通期	50,000	3.0	1,500	57.4	1,700	36.1	1,000	29.5	17.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	61,588,589株	25年３月期	61,588,589株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	5,872,741株	25年３月期	5,871,446株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	55,716,407株	25年３月期１Ｑ	55,724,378株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報　(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

(1)　経営成績に関する説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
(2)　財政状態に関する説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・4
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・4
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・4

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・7
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
（継続企業の前提に関する注記）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）　・・・・・・・・・・・・・・・・9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　経営成績に関する説明

（単位：百万円）

	平成25年３月期 第１四半期 連結累計期間	平成26年３月期 第１四半期 連結累計期間	増減額
売上高	10,230	11,309	1,078
営業損失（△）	△481	△134	346
経常損失（△）	△309	△4	304
四半期純損失（△）	△229	△26	202

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感や日銀の金融政策などにより、円高是正、株価上昇基調にあり、緩やかな改善の兆しが見えてきました。一方、世界経済は欧州債務問題の長期化、新興国の成長鈍化などにより依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、受注部門ではＢＰＯの一層の推進を図るとともに、引き続きラベル事業や印刷Ｗｅｂ通販などの新規事業の本格化に取り組みました。製品販売部門では「新製品発表会」を開催するなど、新製品の開発、拡販に努めるとともに、北米を中心とした海外販路の開拓にも注力いたしました。また前期連結子会社となった株式会社松本コロタイプ光芸社、カグクロ株式会社及び協友株式会社の業績面への寄与がありました。

なお、当社は再生可能エネルギーの利用促進、森林資源の有効活用による森林整備への貢献などの観点から、木質バイオマス発電事業に参入することとし、平成25年５月に松江バイオマス発電株式会社（当社出資比率55%）を設立いたしました。

この結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比10.5%増の113億９百万円となりました。

一方、利益面では原価率が低下し売上総利益が増加いたしました。販売費及び一般管理費は増加したものの、営業損失は１億34百万円（前年同四半期営業損失４億81百万円）、経常損失は４百万円（前年同四半期経常損失３億９百万円）と採算面は改善いたしました。

また、特別利益は投資有価証券売却益27百万円など合計で28百万円を計上し、特別損失はデリバティブ解約損10百万円など合計で14百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の四半期純損失は26百万円（前年同四半期四半期純損失２億29百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書製本については製本の減少により厳しい状況が続いておりますが、公共図書館の業務委託事業や電子化事業などの受注拡大に努めました。データプリントサービスについては大口受注物件の獲得により順調に推移いたしました。手帳については法人向け手帳の受注や市販手帳の新規販路の開拓に注力いたしました。

この結果、当事業の売上高は53億95百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業損失は１億54百万円（前年同四半期営業損失３億17百万円）となりました。

②ステーショナリー関連事業

「スイング・ロジカルノート」が順調に推移しており、生産量の増加に伴いノート製本機の新設備を導入し一層の効率化、量産化を図りました。スマートフォンと連動するスクラップ型アルバム「スマレコアルバム」を新発売するなど「スマレコ」シリーズの拡充も図りました。またネットビジネスや海外販路の開拓にも取り組みましたが、売上高は若干減少いたしました。

この結果、当事業の売上高は30億53百万円（前年同四半期比3.7％減）、営業損失は97百万円（前年同四半期営業損失１億10百万円）となりました。

③環境事務機器関連事業

大型シュレッダについては、「機密文書の出張細断サービス」のトラック「新型エコポリスバン」の販売に注力し、中小型シュレッダについてはハイセキュリティシュレッダなどの新製品の販売強化に努めました。また連結子会社のカグクロ株式会社が営むオフィス家具のネット販売は好調に推移し、業績面に大きく寄与いたしました。

この結果、当事業の売上高は12億28百万円（前年同四半期比126.2％増）、営業利益は82百万円（前年同四半期営業損失18百万円）となりました。

④ＰＣ周辺機器関連事業

ＬＡＮケーブルの売上高は減少傾向にありますが、タブレット・スマホ関連商品、ＰＣ周辺アクセサリー、変圧器などの海外旅行先でのＰＣ周辺機器が順調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は７億18百万円（前年同四半期比8.7％増）、営業利益は68百万円（前年同四半期比34.8％増）となりました。

⑤ベビー＆シルバー関連事業

チャイルドシートは前期後半より市場回復の兆しがあり、新規販売ルートや海外販路の開拓に取り組みました。高齢者向け福祉用具などのケアリング部門はシルバーカーの拡販に注力いたしましたが、依然厳しい状況にあります。

この結果、当事業の売上高は３億90百万円（前年同四半期比0.9％減）、営業損失は２百万円（前年同四半期営業損失19百万円）となりました。

⑥その他

その他は、連結子会社のウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業、日本通信紙株式会社が営むアウトソーシング事業部門等であり、売上高は５億23百万円（前年同四半期比2.7％減）、営業利益は29百万円（前年同四半期比38.8％増）となりました。

(2)　財政状態に関する説明

（総資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて９億30百万円減少し、205億21百万円となりました。これは商品及び製品が３億90百万円、仕掛品が３億20百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が19億33百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて３億14百万円増加し、231億93百万円となりました。これは建設仮勘定（有形固定資産の「その他」）が３億30百万円減少しましたが、機械装置及び運搬具（有形固定資産の「その他」）が６億32百万円増加したことなどによります。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて６億16百万円減少し、437億14百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億29百万円増加し、160億26百万円となりました。これは未払金（流動負債の「その他」）が３億50百万円、未払法人税等が２億69百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が19億34百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて19億57百万円減少し、78億94百万円となりました。これは、長期借入金が19億91百万円減少したことなどによります。

この結果、当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて６億27百万円減少し、239億21百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、197億93百万円となりました。これは少数株主持分が１億77百万円増加しましたが、利益剰余金が１億93百万円減少したことなどによります。

（自己資本比率）

当第１四半期連結会計期間末の自己資本比率は43.1％となり、前連結会計年度末に比べて0.2ポイント上昇いたしました。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期の業績につきましては、概ね計画どおり推移しており、平成25年５月10日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,010	4,904
受取手形及び売掛金	9,739	7,805
商品及び製品	4,091	4,482
仕掛品	519	840
原材料及び貯蔵品	1,177	1,321
その他	976	1,178
貸倒引当金	△62	△11
流動資産合計	21,451	20,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,923	4,849
土地	10,855	10,857
その他（純額）	3,152	3,449
有形固定資産合計	18,930	19,156
無形固定資産		
のれん	476	445
その他	520	558
無形固定資産合計	997	1,004
投資その他の資産		
その他	2,967	3,049
貸倒引当金	△16	△17
投資その他の資産合計	2,951	3,032
固定資産合計	22,879	23,193
資産合計	44,331	43,714

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,339	6,265
短期借入金	4,197	6,131
未払法人税等	344	75
賞与引当金	491	420
その他	3,324	3,134
流動負債合計	14,697	16,026
固定負債		
長期借入金	5,836	3,844
退職給付引当金	3,693	3,703
役員退職慰労引当金	13	14
その他	308	332
固定負債合計	9,851	7,894
負債合計	24,549	23,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	4,578	4,385
自己株式	△1,335	△1,335
株主資本合計	18,649	18,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	299	313
繰延ヘッジ損益	12	9
為替換算調整勘定	51	68
その他の包括利益累計額合計	363	390
少数株主持分	768	946
純資産合計	19,782	19,793
負債純資産合計	44,331	43,714

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	10,230	11,309
売上原価	7,882	8,552
売上総利益	2,348	2,757
販売費及び一般管理費	2,829	2,892
営業損失（△）	△481	△134
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	11	49
その他	205	125
営業外収益合計	217	175
営業外費用		
支払利息	27	24
貸与資産諸費用	11	10
その他	6	9
営業外費用合計	45	45
経常損失（△）	△309	△4
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	1	27
特別利益合計	3	28
特別損失		
固定資産処分損	0	4
投資有価証券評価損	13	－
デリバティブ解約損	－	10
その他	0	－
特別損失合計	14	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△319	8
法人税、住民税及び事業税	22	65
法人税等調整額	△103	△28
法人税等合計	△81	36
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△238	△28
少数株主損失（△）	△9	△1
四半期純損失（△）	△229	△26

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△238	△28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	15
繰延ヘッジ損益	△4	△3
為替換算調整勘定	9	17
その他の包括利益合計	△77	28
四半期包括利益	△316	0
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306	0
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。